

平成29年度 部局長マネジメント方針

健康部長 おおほり 大堀 かずとし 和俊



仕事に対する基本姿勢

健康部では「健康で元気に暮らせるまち」「安心して医療を受けられるまち」「安心して子どもを産み、育てられるまち」「生活衛生が行き届いたまち」を目指して施策を展開しています。

少子高齢化や疾病構造の変化が進む中、東大阪市民がともに支えあい、健康で心豊かに生活できる活力ある社会の実現にむけて策定した「健康トライ21(第2次)」を中心にした様々な事業を推進してまいります。

また、震災などの災害が発生した時の医療の確保など、健康危機管理対策についても、府や近隣自治体及び関係団体と連携して進めてまいります。

健康部は多様な専門職員を配置している職場です。この特性を活かしながら健康部が一丸となって、健康に生活できるまちづくりの実現にむけて努力してまいります。

平成28年度の振り返り

- ・「東大阪健康マイレージ」事業を市民や関係団体と協働で実施し、市民の主体的な健康づくりの推進に努めました。市民が健全な食生活を実践し健康で活力ある地域社会を目指す「第3次東大阪食育推進計画」を策定しました。
- ・妊娠・出産・育児を切れ目なく包括的に支援していく取り組みとして、妊娠期及び出産後の健康を守るために妊婦健診にかかる費用助成の増額並びに多胎児妊婦健診、妊婦歯科健診及び産後健診の費用の助成を行いました。
- ・災害発生時における医療救護所の設置を想定した最初の防災訓練を行い、具体的な課題の確認を図りました。
- ・食品取扱施設及び生活衛生施設に対する監視業務や検査業務を行い、市民の食の安全や生活衛生水準の維持及び向上に努めました。
- ・東大阪市立総合病院の独立行政法人化に伴い、評価委員会としては、目標達成の数値化や責任者の明確化等の意見を付け、市長が指示した中期目標の達成に向けて地方独立行政法人市立東大阪医療センターが作成した中期計画に対して、意見書を提出いたしました。

1 健康づくりの推進

市民の健康づくりを推進する計画「健康トライ21（第2次）」について本年度は中間評価を行うことで、目標の達成状況を確認し、健康寿命の延伸を目指して市民が主体的に取り組む健康づくり「東大阪健康マイレージ」事業等を推進してまいります。また、平成28年度に策定した「第3次東大阪市食育推進計画」に基づき、良い食習慣を育む食育活動の働きかけを行なってまいります。がん検診の受診率については、好発年齢への重点的勧奨により効果的な啓発に努めます。また、市域の一般診療所と精神科医療との連携を進め、こころの病気の相談支援と理解促進を図ることで自殺を未然に防ぎ、市民のこころの健康づくりを進めます。

2 健康で安心して出産できるサービスを充実

母子ともに安心して健やかに暮らしていただくために、母子保健事業の充実は必須です。従来からの乳幼児健診、家庭訪問による個別の育児相談等に加え、産後ケア、妊婦健診にかかる費用助成の増額、多胎児妊婦健診、妊婦歯科健診、産後健診費用助成等の事業を整備してきました。

平成29年度は、関係する部局と連携を更に深め、母子保健施策の情報をわかりやすく発信する等、妊娠・出産・育児を切れ目なく包括的に支援していくサービスの充実、推進を図ります。

3 健康危機管理対策の充実

今後起こりうる大地震発生等に対する備えとして、市内医師会、歯科医師会、薬剤師会などと災害発生時の連絡体制の明確化、情報共有の方法等について構築してまいります。

地球温暖化により、蚊媒介感染症の広がりが危惧されることから、2019年ラグビーワールドカップ会場である花園中央公園等において蚊に対する適切な対策に努めてまいります。また、食品取扱施設及び生活衛生施設に対する監視業務や検査業務を引き続き行ってまいります。

4 市営斎場の施設整備の推進

将来の火葬需要の高まる時期に備え、老朽化が著しい既存斎場施設の改修等施設整備を計画的に進めてまいります。

5 地方独立行政法人市立東大阪医療センター評価委員会の適正な運営

平成 29 年度は、医療センターが策定した中期計画に基づく年度計画に対する総合的な評価を行う初年度になります。市長が指示している中期目標の達成に向けて、医療センターの計画が着実に遂行しているかを調査分析し、評価委員からそれぞれの分野における専門的な意見をいただき、適切な評価が行われるよう評価委員会を運営してまいります。